

公園施設を長く使用するためには『適切なメンテナンス』が必要です。

公園施設のメンテナンスは当社にお任せください。

修繕することのメリット

- ① **部材交換** 劣化、破損した部材を交換することで長く使用できます。
- ② **再塗装** 塗装のはがれでぐめかしくなった部材を再塗装することで美観が生まれ変わります。
*比較的軽微な劣化の場合
- ③ **全面改修** 劣化が激しく、一部の部材交換等では対処できない場合は全面改修のご提案をします。
- ④ **改良** 安全上問題のある遊具の隙間改善等、改良のご提案をいたします。

当社の公園施設製品安全管理士、公園施設製品整備技士が修繕のご提案をいたします。

部材の標準使用期間と推奨交換サイクル

- ① 標準使用期間について：適切に維持管理される条件下で、構造部材が鉄製の場合には15年、木製の場合は10年を目安として規準で設定されています。
- ② 推奨交換サイクルについて：利用によって摩耗や消耗する部材は標準使用期間内に交換が必要となります。推奨交換サイクルはこの目安となる期間を示したものです。

主な消耗部材（部品）とその推奨交換サイクル

遊具	消耗部材（部品）	推奨交換サイクル	遊具	消耗部材（部品）	推奨交換サイクル
ぶらんこ	吊り金具・チェーンなど	3年～5年	ロープウェイ	ケーブル	5年～7年
	回転軸	3年～5年		滑車部	3年～5年
スプリング遊具	スプリング	5年～7年		握り部	3年～5年
ロッキング遊具	軸受部	5年～7年		緩衝装置	3年～5年
	ストッパーゴム（緩衝部）	3年～5年		ネット（小規模なもの）	3年～5年
回転ジャングルジム	軸受け	5年～7年	ロープ（小規模なもの）	3年～5年	
ローラーすべり台	ローラー	5年～7年	ワイヤー入りロープ（小規模なもの）	7年～10年	

* JPFA-SP-5：2014年に準拠しています。

公園施設製品整備技士とは

(社)日本公園施設業協会の認定試験に合格し、公園施設製品の点検・調整・修繕等の整備全般に関する業務を行う者を言う。

※公園施設の点検及び修繕業務を行います。



公園施設製品整備技士証

公園施設製品安全管理士とは

(社)日本公園施設業協会の認定試験に合格し、公園施設の設計、製作、施工、維持管理に関する監理業務を行う者を言う。

※公園施設の安全性を判定しそれらの安全性を確保する業務を行います。



公園施設製品安全管理士証

遊具点検報告書

遊具点検後、劣化・規準の判定結果（A～D）を報告いたします。現状把握が可能であり、また、安全で安心な環境を保持することができます。

